



希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和5年5月24日

児童数
96人
(5/24現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

新しいコミュニティ・スクールに...

校長 川本 朋子

新型コロナの5類への移行により、少しずつ生活の中での意識が変わり始めています。地域と合同の運動会も、盛大に終わることができました。子どもたちの笑顔だけでなく、保護者や地域の皆様の笑顔がたくさんはじけ、素敵なふれあいの姿に嬉しく思いました。

振り返ると、この約3年間は、行事を見直したりICTが急速に普及したりと、劇的に変化のあった期間だったようにも感じます。それまで当たり前のように行っていた地域とのふれあいが恋しく、当たり前のもではなかったことにも気づかされました。これからの時代はコロナ前に戻るという意識ではなく、新しい見初小コミュニティ・スクールを作るという気概をもって、進んでいきたいものだと思います。

新しく…と言えば、今年は、様々なものを見つめ直し、より良くしようという雰囲気にあふれています。まずは、朝の登校時刻。8時までに登校することを児童にも自覚させることにより、気持ちの良い朝の時間を生み出しています。明るい挨拶に始まり、植物に水やりをして、朝学にスムーズに取り掛かり…と。さわやかな朝の時間が流れます。

昨今、市内では、「学校のきまり（校則など）」を見直そうという動きもあります。「きまりだから守らなくては…」の前に、このきまりで私たちの生活はより良くなるのか、こんなきまりだったら良いのでは…等を、子どもたちと一緒に考えたいものです。安全で落ち着いた生活ができること。温かなふれあいの中で、喜びを感じながら生き生きと生活できること。豊かに学び合えること。「学校のきまり」とはそのためにあるのだと考えます。見初小学校の児童や教職員がさわやかに生活できることを願って…。今後、家庭や地域の方々のお知恵やご意見をいただければ幸いです。

さあ、新しい時代の新しい見初小学校を創っていきましょう。



第1回 学校運営協議会 4月26日（水）

～体力向上について、委員さんからのご意見～

- 休み時間や放課後に外遊びをしている。縄跳びの二重跳びなどはとても上手。
- 今の子どもは、腰を落とした姿勢ができない。下半身の強さが足りない。階段を段とばしや速足で上がるのも効果がある。
- 軟式テニスの柔らかいボールは、子どもたちの遊びにちょうどいい。使えると良い。
- 放課後に多くの子どもが遊んでいる。子どもにとっては良いことだ。
- おうちで運動をすることは良いことだが、実際はスペースの関係で難しいこともある。校庭や公園で遊ぶ子を増やすことは良い。

協議の中で、放課後や休日での、中高生や地域の方々の運動場利用についても話題が出ました。運動場は、学校の施設です。安全で、怪我や事故につながらないように、利用者が各自でしっかりと責任をもって利用していただくようお願いしたいと思います。

進取劣作
校訓 質実剛健
(昭和5年制定)
醇風美俗

チャレンジ目標【2023年度】

- ☆ いつでも自分からおじぎとあいさつをしよう！
- ☆ たくさんの人に心をこめて、ふわふわ言葉を使おう！
- ☆ 身支度を整えて、時間いっぱいだまって掃除をしよう！

◎ 見初っ子宣言 ◎
**みんなで思い合い、
めざせ笑顔100%
いじめ0%**